

週間漁海況情報 2025年第38号

令和7年9月24日発行

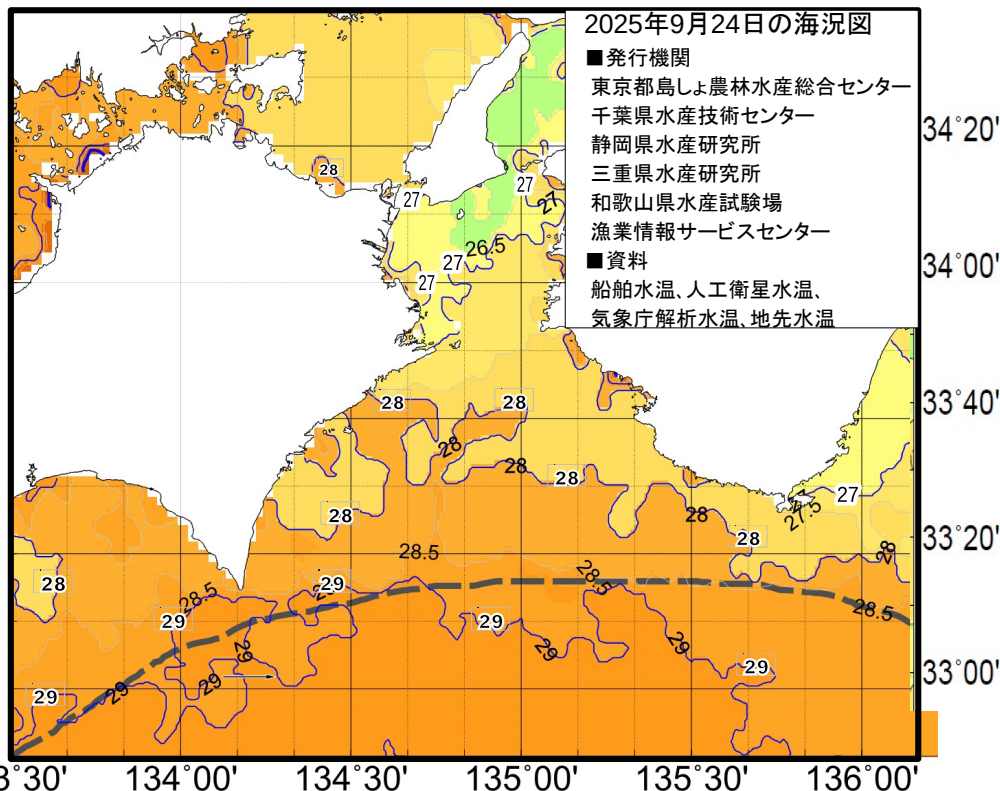
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖15マイル付近、潮岬沖25マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は27～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で27～28、紀伊水道で26～27、海部沿岸で27～28℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

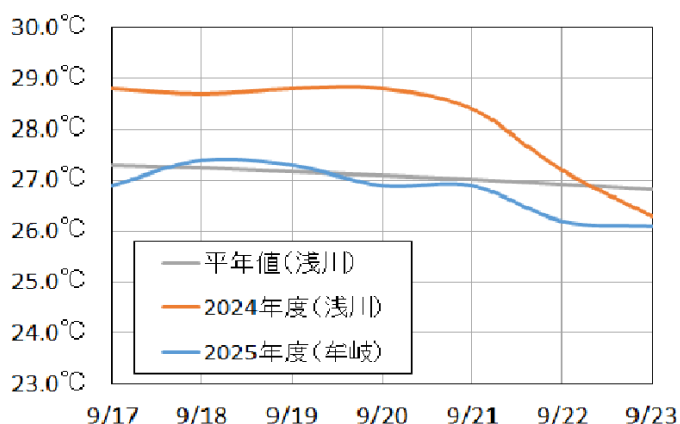
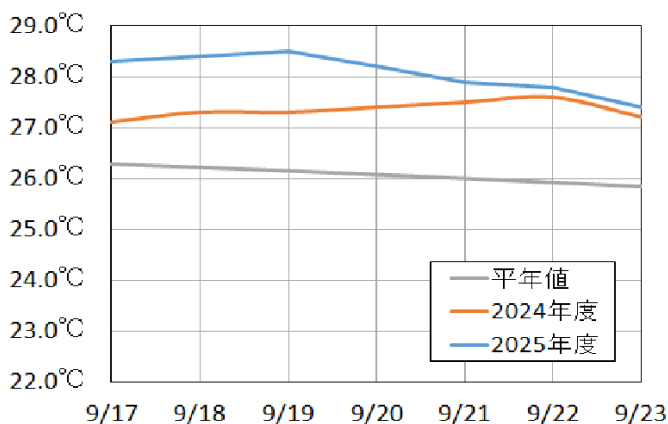
2. 地先水温(9月17日～9月23日 浅川地区は水温計故障のため牟岐地区の水温を用いた。)

鳴門地区の水温は、28.5～27.4℃で「高め」で推移。牟岐地区は、27.4～26.1℃。

鳴門と牟岐地区の水温差は、-1.0～-1.6℃だった。

鳴門地区

牟岐地区(昨年度と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(9月24日～9月30日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」から「やや離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「高め」で推移する見込み。

漁況 (9月15日～9月21日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って13ト水揚げされた。

釣りでは、サワラが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて中主体に3.9ト、サワラが大きく増えて0.8ト、あまだい類が0.7ト水揚げされた。

底びき網では、イボダイが増えて8.3ト、ハモが減って中主体に1.9ト、えそ類が増えて0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って豆あじ級主体に4.1ト、

マサバが増えて小主体に1.6ト、マルアジが増えて小主体に0.8ト、

カンパチが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、キダイが大きく増えて大主体に0.4ト、

あまだい類が0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	(kg)		銘柄	前週比※
				漁獲量	1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	48	シラス	12,960	270		↘
	釣り	10	サワラ	457	46		↗↗
	延縄	49	ハモ	3,920	80	中主体	↗
		23	サワラ	800	35		↗↗
		46	あまだい類	735	16		→
	底びき網	26	イボダイ	8,311	320		↗
		19	ハモ	1,855	98	中主体	↘
		25	えそ類	596	24		↗
	小型定置網	21	マアジ	4,114	196	豆あじ級主体	↘
		11	マサバ	1,562	142	小主体	↗
		20	マルアジ	786	39	小主体	↗
		16	カンパチ	315	20		↗↗
海部沿岸	延縄	11	キダイ	408	37	大主体	↗↗
		12	あまだい類	266	22		→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘